

平成23年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
3目 交通対策費

交通政策課 (内線: 7099)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国内航空便 利用促進事業	71,310	23,981	47,329				71,310	
トータルコスト	88,884千円 (前年度37,697) [正職員: 2.2人 非常勤職員: 0.3人]							
主な業務内容	国内航空路線の利用促進活動の実施など							
工程表の政策目標(指標)	東京便の増便、航空便の運賃低廉化、国内航空便の利用促進 (便数・搭乗者数: 鳥取-東京便 5便・400千人、米子-東京便 6便・500千人)							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

県内空港に就航する国内航空便の充実を図るため、空港利用促進懇話会等と連携して、PRキャンペーンや空港の賑わいづくり、旅行商品造成の働きかけ等利用促進に積極的に取り組む。

特に、羽田空港の平成25年度の発着枠の新規割当及び既存枠の見直しを好機とした鳥取・米子-東京便の増便の実現を図るためには、航空会社が増便の判断材料とする平成23年度の搭乗実績が極めて重要となることから、首都圏向けの鳥取県観光・路線のPR強化など首都圏誘客を中心に利用促進の取組を一層強化する。

また、観光シーズンなど期間限定の国内チャーター便の新規就航・利用促進にも取り組む。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区 分	予算額	内 容
①鳥取・米子鬼太郎空港の利用促進	18,595	鳥取空港の利用を促進する懇話会及び米子空港利用促進懇話会が行う航空便の利用促進事業に要する経費の一部を負担する。 ・県負担金内訳 [利用促進] 18,000千円(県1/2) [一 般] 595千円(定 額)
新首都圏での継続的な観光・路線PR	14,742	羽田空港等首都圏での継続的なPRイベントにより鳥取県の観光・路線PRを行う。
③航空会社とタイアップしたPRキャンペーン	30,215	ANAとタイアップして、鳥取県のPR及び搭乗者へのプレゼントキャンペーンを閑散期(H23.12~H24.2月予定)に実施する。 ア ANAとタイアップしたキャンペーンPR(14,595千円) ・ANA媒体を使用した広告宣伝 イ E d yプレゼントキャンペーン(15,620千円) ・キャンペーン期間中、鳥取・米子-東京便の朝1便の利用者(ANAマイレージクラブ会員を対象)に2,000円のE d yポイント(電子マネー)を提供
④米子鬼太郎空港賑わい創出事業	4,500	鬼太郎をキーワードとした空港の賑わい創出を行う。 ・天井吊り下げ型メインキャラクターオブジェの設置 ・到着荷物受取ターンテーブルへのオブジェの設置 ・米子鬼太郎空港駅連絡通路防風壁等へのイラストシール貼付
新国内チャーター便就航先でのRR	2,372	国内チャーター便の就航先で、イベントや広告等により空港・観光の魅力をPRし、チャーター便を利用した誘客を促進する。
全国地域航空システム推進協議会負担金	135	地域航空システムの調査研究等を行う協議会への負担金
⑦事務費	751	
計	71,310	

3 これまでの取組状況、改善点

- ・東京便の増便、運賃低廉化、ダイヤ改善等の利便性向上に向けて、継続的に国、航空会社に対して要望活動を行っている。
- ・羽田空港の発着枠拡大を見据えた東京便の増便等の働きかけを強化するため、搭乗率向上対策として航空会社とのタイアップPRキャンペーンを実施している。